

元気印のかんおんじ21 第2次ヘルスプランの推進

健康増進計画・食育推進計画

生活習慣病予防グループ

保健センター ☎ 23 - 3964

☆健康を意識するのはどんなとき？

市が実施している特定健康診査やがん検診の受診率は40%以下と低く、その中でも40歳から59歳までの若い世代の受診率はさらに低い状況です。

今ある健康が決して当たり前でなく、健診を受けることで健康に関心を持ち、生活習慣の改善につながることを知ってもらいたいと「健康づくりポスター」を作成し、市内のスーパーマーケットやコンビニエンスストアなどに協力いただき掲示しました。

今回はアンケート結果と、今後の取り組みについて紹介します。

(第1弾、第2弾は広報7月号に掲載)

「健康づくりポスター」 掲示アンケート結果

イベントや地域の集まりなどに参加した85人に、ポスターの感想を聞いてみました。

☆回答者の年齢

10歳代…… 1人	20歳代…… 2人
30歳代…… 6人	40歳代……12人
50歳代……15人	60歳代……31人
70歳代……13人	80歳代…… 5人

その結果、寿命が 10年以上短くなる病気です。

第3弾!

糖尿病は放置すると全身の血管の老化が急速にすすみ、脳、心臓、腎臓などが機能不全に陥ります。



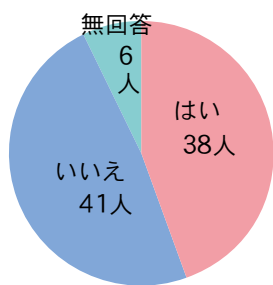
40歳代の人の10人に1人が糖尿病の可能性!? 糖尿病が疑われても4割程度の人が治療を受けていない。この現実を憂います。

糖尿病について一緒に考えてみませんか?

作成：観音寺市ヘルスプラン推進会議 生活習慣病予防グループ
問い合わせ先（観音寺市健康増進課 電話 23 - 3964）

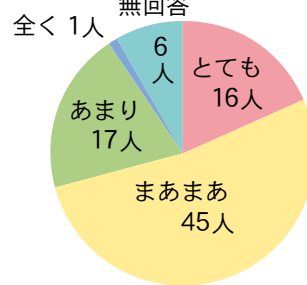
健診を受け、糖尿病の検査数値を確認しましょう。

☆ポスターを見ましたか？



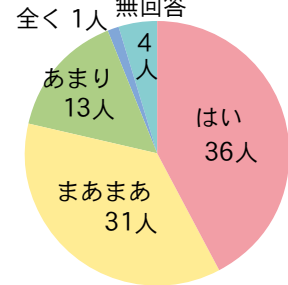
44.7%の方が見たと答えています。

☆興味を持ちましたか？



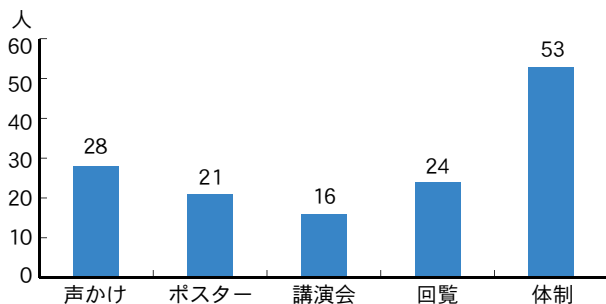
「とても」「まあまあ」と答えた人を合わせると71.8%になります。

☆健康を考える機会になりましたか？



「はい」「まあまあ」と答えた人を合わせると78.8%になります。

☆健診を受診するための効果的な取り組みは？



「受けやすい体制」が一番多く、「地域での声かけ」「回覧」と身近な地域に根付いた活動が効果的と答えています。(複数回答可)

★今後の取り組み

若い世代の人にもっと健康に関心を持ってもらえるよう取り組みを進めていきます。

「健診を受けやすい体制づくり」…1度に全ての検査が受けられる総合健診や仕事をしている人も受診しやすい休日健診、健診自己負担金の軽減（節目年齢の無料化）などの取り組みを推進していきます。

「啓発活動の推進」…地域での声かけや回覧を行うとともに、地域で行われている行事に生活習慣病予防グループが参加し、生活習慣病予防を呼びかけていきます。